

## 令和4年度 高校生防災アクション 実施報告書

学校名	揖斐高等学校
テーマ	保育コースの学習を通じて、過去の災害を知り、自分たちでできる防災・減災について考え、地域で子ども達の命を守るための実践力を養う
1 目標	・減災テストにより、生徒それぞれの実態を把握し、防災意識向上に努める。
2 自校で取り組んだこと	<p>①消防署職員より普通救命救急講習を受講し、幼児に多い誤飲について学び、救急法を習得した。また、乳児幼児と大人の AED の使用方法の違いについても理解した。学校の周りや校内の AED について、設置場所を確認した。</p> <p>②外部講師による VR 体験を通して、水災害から自分と子どもの身を守る方法について学んだ。岐阜県で起こった過去の災害について知った。</p> <p>③自分たちが住む場所のハザードマップを確認した。</p> <p>④夏休み中に各自で、家庭の防災グッズ調査を行った。</p> <p>⑤9月1日の防災の日について知り、「スマホ避難」のシュミレーション、内閣府「南海トラフ映像資料」の視聴を行った。</p> <p>⑥自分たちが通う学校のまわりについて知る為にハザードマップを確認した。</p> <p>⑦災害時に役立つ情報を集め、実際に「水でカップラーメンを食べる」「電池の大きさを変える」「竹の棒で簡易担架をつくる」を実践した。</p> <p>⑧生徒が「避難所での遊び」や「子どもの命を守る防災知識」等各自が自分の課題だと思う内容について調べパワーポイントにまとめた。</p> <p>⑨生徒間で発表し、代表生徒が命を守る訓練終了時に全校生徒に学んだことを発表した。</p> <p>⑩防災テスト2回目の実施</p>
3 自校で取り組んでいく際にあった困難とその解決に向けて努力や工夫したこと	・海なし県であることや、地震の経験があまりない生徒にとっては、想像力を働かせ災害を「明日起こるかもしれないこと」「自分の事」として考えることが困難であった。生徒が少しでも関心を持てるよう外部講師を招いたり、実際に動いてみたりすることを多くし、理解を深めることに努めた。
4 目標に対する成果	<p>・減災力テスト（対象 3年： 10名）</p> <p>1回目 平均点33.7点 ⇒ 2回目 平均点51.8点</p>
5 目標に対する今後の課題	・今回は保育コースでの実践となり、少人数での取組となった。来年度は人数を増やすことができるよう教科を厳選するとよい。
6 自校における来年度の取組（本年度の学びをどのように引き継ぐか、または深めるか。）	・成果を感じることができたため、他教科での取り組み、防災意識向上に努めたい。